

令和5年度 高知県立盲学校 学校運営協議会記録

【委員】※参加者は数字に○印、7は Meet による WEB 参加

番号	氏名	所属等	区分
①	原田 浩平	小高坂各種団体連携協議会会長	地域住民
②	内川 文博	越前町1丁目北町内会会長	地域住民
3	井上 牧	高知県立盲学校PTA会長（高等部）	保護者
4	高橋 鈴香	高知県立盲学校PTA役員（高等部）	保護者
⑤	高田 麻美	高知県立盲学校PTA副会長（小学部）	保護者
6	上村 雅志	社会福祉法人 小高坂更生センター理事長	学校の運営に 資する者
⑦	金平 景介	高知県身体障害者連合会 視覚障害者生活訓練指導員	学校の運営に 資する者
⑧	西岡 和美	オーテピア高知 声と点字の図書館館長	学校の運営に 資する者
⑨	伊藤 正孝	高知県進学協議会事務局長	学識経験を 有する者
⑩	中野 直喜	高知県立盲学校長	学校関係者

令和5年度 第1回学校運営協議会

1 日時 令和5年8月10日（木） 9:30~10:40

2 場所 盲学校校長室

3 議事 (1) 会長挨拶

(2) 自己紹介

※参加者確認と過半数の参加により協議会成立確認も含む。

(3) 令和5年度の学校概要について(学校経営計画を含む)

(4) 意見交換

(5) その他・事務連絡

(6) 学校長挨拶

4 議事概要

(1) 令和5年度の学校概要について(学校経営計画を含む)

学校長が資料(P5~17)に基づき、1学期間の校内の取り組みや活動について説明、報告

(2) 意見交換

<西岡委員>

ICT(タブレット端末を含む)機器の配置状況についてもう少し具体的にお伺いしたい。

<中野委員>

県の施策に従って、一人一台端末を実践している。ただし、児童・生徒の見え方に応じてノートパソコンやipadなど最適な機種を選んで配置(配布)している。他校と比べて盲学校のICT活用率は高い結果が出ている。

<伊藤委員>

タブレット端末やChromebookはipadのようにアクセシビリティは優れているか?

→丸山

点字使用者は、タブレット端末のアクセシビリティ操作の習熟には相当の訓練が必要。なので、点字使用者にはPC-Talkerを搭載したWindowsノートパソコンを配布している。

<金平委員>

高知県内で視覚障害者を支援する立場として、高齢化が顕著なのは否めない。(例え、成人であっても)盲学校に入学する適齢とは言い難い方も多い。盲学校の児童生徒数減少は知っているの、折に触れ、支援の際に体験入学などの案内(お誘い)を行っている。

<伊藤委員>

盲学校の児童生徒数の少なさばかりが取り上げがちだが、教育も(金平さんのような)福祉の立場であっても、視覚障害による不便さを解消したり、QOLを向上させる支援が行き届いていない方が県内でもおられるのではないかと。むしろ、児童生徒数よりも支援が100%行き届いていないかもしれない事態を憂慮する。福祉の立場として金平委員はどう思っているか?

<金平委員>

私たちは年間で150名ほどの視覚障害者の方を支援している。残念ながら視覚障害の身体障害者手帳を取得してから何らかのサービスを一度も受給したことがない方も実際にはおられる。福祉の立場としてもそのような方にお会いすると我々の活動も20年、続けているのに行き届いていない現実を突きつけられ、忸怩たる思いもしている。拡大読書器など(補助具)を早くに知っていれば、仕事を続けられたかもしれないなど人生に多大な影響を与えている。盲学校も同じでもっと若いころに盲学校の存在を知っていれば入学して、理療など職業教育に結びついていたかもしれないと思うことは大いにある。課題解決には教育も福祉も眼科医と協働することが大切ではないかと思う。

<原田委員>

地域との連携の大切さについて意見を申しあげたい。特に子どもたちとの触れ合いを大

切に考えている。7月22日に地域の小高坂まつりを実行委員会形式で行った。

<内川委員・原田委員>

そういえば、7月22日の地域の小高坂まつりは盲学校に案内を出していなかったような気がする。次年度に向けて地域としても検討していきたい。

<伊藤委員>

7月22日といえば、学校は夏休みに入っており、微妙な時期の開催となるので、(盲学校としても)参加体制なども検討しなければならないと考える。

<西岡委員>

地域の小高坂まつりはどんな内容のイベントか?少し教えてもらいたい。

<原田委員>

地域の小学校のグラウンドを使って、主に子どもたちがステージ発表などを行うイベントである。大人のステージ発表はなく、あくまで子供が主役といったコンセプトを大切にしている。PTA等も運営に協力している。

<中野委員>

以前、地域の小高坂まつりに理療科がマッサージ施術体験などで参加したことがある。

<伊藤委員>

今後とも地域の情報などは学校と共有できるとさらによいと考える。

さて、保護者代表の方からご意見はないでしょうか?

<高田委員>

学校保護者連絡システム「すぐーる」を今年度はとても活用できていると思う。学校からののお知らせやアンケート機能などを有効に活用しているように思う。紙ベースよりもスマートフォンでお知らせなどを見ることができるとはうれしい。アンケート機能など有効に使って、保護者から回答できるような使い方も便利と考える。また、学校の様子もホームページだけでなく、タイムラインなどで配信されているので盲学校の「すぐーる」が特に進化していると感じた。

<伊藤委員>

ホームページや「すぐーる」のタイムラインには児童生徒写真は他校のように掲載できないか?

<中野委員>

盲学校は保護者全員にアンケートをとって、同意を得られたら、掲載するような仕組みである。

<高田委員>

「すぐーる」にはタイムラグがあるのではないかと?新着情報が一部遅延しているように感じるが?

<金平委員>

私も子どもの小学校からの「すぐーる」の配信遅延はよくある。

<西岡委員>

盲学校の読書活動の文部科学大臣表彰は素晴らしい。いつも録音図書などバリアフリ

一図書の普及に盲学校は積極的に取り組んでくれている。しかし、バリアフリー図書の全県的な認知度はまだ十分とはいえないので、今後とも積極的な協力をお願いしたい。

<原田委員>

寄宿舎北側フェンスに隣接する公園の樹木については(高知市と協議して?)伐採してもらったのでお知りおきいただきたい。

<中野委員>

1学期に寄宿舎内に何者かが侵入してのこぎりを放置する事案があった。警察にも相談し、指導もあったので、県と協議して防犯カメラを設置することになった。

<原田委員>

地域としても防犯意識を高めるよう取り組んでいきたい。

<西岡委員>

9月18日(月)祝日、オーテピアでルミエールフェスタが開催予定。視覚障害者の機器展示や盲学校から点字名刺の体験ブースもあるので、ぜひご参加をお願いしたい。

<伊藤委員>

各委員の積極的なご意見ありがとうございました。いただいたご意見をもとに今年度の学校運営に役立てて欲しいと思います。特に「すぐーる」のさらなる活用に期待しています。